

2020年度 電力・エネルギー政策パッケージ（概要版）

中長期的に目指す姿

エネルギーリスクに強く持続可能な分散型エネルギーシステム

柱1（需要面）

必要なエネルギーを賢く使う「スマート省エネ」の社会づくり ～エネルギーの最適利用や高効率な設備・機器の導入促進を図り、スマートできめ細かな省エネルギーを推進～

1 スマート・ユースを実践するライフスタイルへの転換

- 県庁における省エネ対策の実施
- 地球温暖化防止・省エネ行動の実践に向けた普及啓発【**拡充**】
 - ・2020年度は、新たに県内の小学生とその家族が、チェックシートを利用してエコライフの実践に取り組む「我が家の夏休み！エコアップ大作戦」を実施。
- 電力・ガスの小売全面自由化に関する消費生活相談等の実施

2 先進技術を取り入れたエネルギー消費が少なく暮らしやすいまちづくり

- 住宅用地球温暖化対策設備（HEMS、燃料電池、蓄電池、電気自動車等充給電設備（V2H）、ZEH）設置に対する市町村との協調補助
 - ・住宅用太陽光発電施設の累積設置基数は196,510基（2019年9月末現在、**14年連続全国1位**）。
- 建築物の環境性能を総合的に評価する「CASBEE あいち」の運用
- 「環境首都あいちにふさわしい全国モデルとなる新エネ・省エネ施設」とすることを旨として建替えた環境調査センター・衛生研究所の全面供用開始。
 - ・公共施設では国内2例目となるBELSにおけるNearly ZEBに認定。

3 産業の競争力を高める省エネ対策の促進

- 中小事業者を対象とした「あいち省エネ相談」の実施
- 温室効果ガスの総排出量が相当程度多い事業者に係る「地球温暖化対策計画書制度」の運用
- 「あいちCO₂削減マニフェスト」の運用
- 中小企業の省エネ・新エネ設備等の導入に対する融資

- Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）における太陽光エネルギー等の活用【**新規**】
 - ・展示ホール屋根の断熱機能の強化等による外皮性能の向上のほか、太陽光発電、自然採光・換気等自然エネルギーを活用した省エネ設備の採用により、中部圏初のCASBEE Sランクの大規模展示場を実現。
 - ・年間で消費する建築物のエネルギー消費を50%以上削減したZEB readyに相当する設計（**展示場として国内初**）。
- 先進環境対応自動車の導入を行う旅客・貨物運送事業者、中小企業等の事業者及び自動車リース事業者に対する補助



Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）

断熱性の強化や省エネ設備の採用等による環境性能向上に加え、太陽光発電設備による創エネルギーを実施。

柱2（供給面）

地域資源を総動員する多様なエネルギーづくり ～地域の特性を生かし、太陽光、小水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーを最大限に活用～

1 太陽光の活用

- メガソーラー事業の運営支援
- 住宅用地球温暖化対策設備（HEMS、燃料電池、蓄電池、電気自動車等充給電設備（V2H）、ZEH）設置に対する市町村との協調補助＜再掲＞
 - ・住宅用太陽光発電施設の累積設置基数は196,510基（2019年9月末現在、**14年連続全国1位**）。
- 犬山浄水場におけるメガソーラー等の整備・運営を組み込んだPF1事業の推進

2 小水力の活用

- 農業水利施設を活用した小水力発電の推進

3 バイオマスの活用

- 流域下水道浄化センター（衣浦東部・矢作川・豊川）における下水汚泥のエネルギー利用

4 その他のエネルギー源の活用

- 豊川浄化センターの下水処理水の熱を利用したミニトマトの栽培実証
- 災害時における電動車等の活用【**新規**】
 - ・停電している避難所や住宅等へ、非常用電源として電力供給が可能な電動車等の活用を推進・促進。
 - ・2020年1月に締結した「愛知県地区トヨタ販売店、トヨタレンタリース店、トヨタホーム店及びトヨタ自動車株式会社との地域活性化に関する包括連携協定」において、実施若しくは実施に向けて検討していく取組の一つとして「電動車（試乗車）を活用した災害時給電」が盛り込まれる。

柱3（横断的な取組）

エネルギー対策の総合的な推進並びに研究開発及び産業化の推進 ～省エネ、創エネ、蓄エネに関する取組を総合的に進めるとともに、先進技術の研究開発や産業化を推進～

1 エネルギー対策の総合的な推進

- 「愛知県電力・エネルギー対策本部」の運営
- 電力・エネルギー政策パッケージの作成【**追加**】
 - ・本県の現状や地域特性のほか、SDGsの視点も踏まえてエネルギー政策を推進。

2 エネルギー技術の先進的な研究開発及び普及等

- あいち低炭素水素サプライチェーンの構築・拡大の推進
- リサイクル関係施設等の施設整備及び循環ビジネスの事業化可能性等の検討に対する補助【**拡充**】
 - ・2020年度は、廃プラスチック処理施設の整備を新たに補助区分として設置。
- 産業空洞化対策減税基金を活用した研究開発・実証実験及び企業立地に対する補助

3 次世代自動車の導入促進

- EV、PHV及びFCVを対象とした自動車税種別割の課税免除
 - ・2015年4月1日から2021年3月31日までの間に新車新規登録を受けたEV、PHV及びFCVを対象として自動車税種別割の課税を免除。
 - ・県内のEV、PHV及びFCVの登録台数は、計22,998台で**全国1位**（2019年3月時点）。
- 愛知県庁水素社会普及啓発ゾーンにおける普及啓発及び民間事業者の協力による移動式水素ステーションの運用
- 水素ステーションの整備費及び需要創出活動費に対する補助
 - ・県内の水素ステーション数は、整備中も含め**全国1位**の28か所（2020年1月末現在）。
- 燃料電池産業車両（FCフォークリフト）の導入を行う事業者に対する補助



SDGsロゴ（カラーホイール）及びSDGsアイコン

愛知県の電力・エネルギー政策は、SDGsの目標「7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「11 住み続けられるまちづくりを」、「12 つくる責任、つかう責任」、「13 気候変動に具体的な対策を」、「15 陸の豊かさも守ろう」の達成に貢献。